＜世界母乳週間　世界母乳の日＞　主催：日本母乳の会
後援：：ユニセフ　厚生労働省　日本小児科学会　日本小児科医会　日本産科婦人科学会　日本助産師会　日本周産期・新生児学会
日本看護協会　　京都産婦人科医会　京都府　　京都市　京都小児科医会

第 20 回　母乳育児シンポジウム「伝える　伝わる　母乳育児」

場所：京都市　みやこめっせ　〒606-8343　京都府京都市左京区岡崎成勝寺町 9-1　TEL075-762-2630
日時：2011 年 8 月 6 日(土)、7 日(日)

8 月 6 日（土）9:00～18:30

総合司会：平林　円　大阪市立十三市民病院　　大谷ゆかり　舞鶴共済病院

9：00～ 9：30　開会
開 会 挨 拶　山内 芳忠　第 20 回母乳育児シンポジウム実行委員長　日本母乳の会代表理事
メッセージ　平林 国彦　ユニセフ東京事務所 所長
厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課

9：30～12：00　一般演題
口演発表、第 16 回ワークショップ優秀演題発表

12：00～13：00　昼　　食

13：00～13：30　基調講演
「日本母乳の会の 20 年の歩みと今後」
講師：山内 芳忠　日本母乳の会代表理事

13：30～14：30　教育講演
「母子間コミュニケーション脳科学～匂いと五感を中心に～」
講師：篠原 一之　長崎大学大学院医歯薬学総合研究科　神経機能学教授
司会：李　容桂　愛仁会高槻病院

14：30～15：30　ポスター発表
「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定へ向けて相談コーナー

15：30～18：00　シンポジウム１
「母乳育児―施設で始める　はじめの一歩」
司会：谷口　武　谷口病院
早坂 文枝　北見赤十字病院

1）基調：施設で支えるということ
米谷 昌彦　加古川西市民病院

2）分娩室からはじまる母乳育児・母子同室
笠松 堅実　笠松産婦人科・小児科

3）母乳不足感を考える
①お母さんの母乳不足感
亀川 しのぶ　大阪市立十三市民病院
②スタッフの母乳不足感と母乳不足
下田 五月　国立病院機構長崎医療センター

4）チームで支える（職種間の連携）母乳育児
山田 三枝　岐阜医療センター

18：00～18：30　一般社団法人日本母乳の会　会員総会

18：30～20：30　懇親会　みやこめっせ

8月7日(日)　9：00～15：50

9：00～11：15　シンポジウム２

「社会環境の変化の中で母乳育児支援を考える」

司会：**高橋　幸博**　奈良県立医科大学
若宮　君枝　熊本市立熊本市民病院

1）基調
高橋 幸博　奈良県立医科大学

2）分娩の集中、入院期間の短縮と母乳育児支援
長谷川 功　済生会新潟第二市民病院

3）高年齢出産、若年出産等と母乳育児支援
龍見 信哉　パルモア病院

4）育児不安-妊娠中からの母乳育児支援
新實 房子　山田産婦人科

5）施設から地域へ－地域の中で母乳育児をサポートしていくための分娩施設の取り組み
神田 隆善　国立病院機構大阪南医療センター

11：15-11：30　全国「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」データ報告

講師：**依田　卓**　日本母乳の会運営委員　山王病院

11:30～12：30　昼　　食　「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定へ向けて相談コーナー

12：30～13：30　特別講演

「『待つ』ということ―今、私たちに問われていること」

講師：**鷲田 清一**　大阪大学総長
司会：**山内 芳忠**　日本母乳の会代表理事

13：30～15：20　災害特別シンポジウム（市民公開シンポジウム）

「東日本大震災―母子への支援」　震災時の体験を語り継ぎ、伝えていこう

司会：**渡辺 孝紀**　仙台市立病院
井田久留美　パルモア病院

神戸―長岡―東日本と大震災の中での母子への支援
助産師さんから、小児科医から、産科医から、保健師さんから
母親から、父親から、ボランテイアから
電話相談から
母乳育児支援はどうあるべきか

15:20～15：40

母乳育児　京都宣言　発表・採択

15:40～15：50　閉会
第20回母乳育児シンポジウム副実行委員長
第21回母乳育児シンポジウム実行委員会

●**ポスター展示**
・「母乳の神秘」展　・日本母乳の会20年の歴史　・「赤ちゃんにやさしい病院」認定後報告
・母乳育児ワークショップ優秀演題　・一般演題ポスター発表　・その他

●**ビデオ放映**　・乳頭の手入れ　・早期の母子接触